

妙高市立妙高小学校 実施報告

テレワーク活用状況の実際

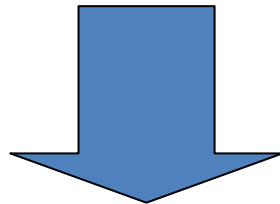
教諭 松永 勝栄



当校の現状

- 児童数191名、2年生以上単学級、39名、38名のクラスもある。
- スキー部の活動をはじめ、年間を通して課外活動があり、放課後の時間がほとんどない。
- 8割の教職員が新潟県人事異動基準のB地域（通勤距離20km以上） 往復通勤時間は1時間を超える。（冬期間は2時間）

- 教育に情熱を傾ける教師ほど、勤務時間の全てを子どもたちと共に過ごしてしまう。
- 今年度から校務支援システムが整えられたのに活用されていない。



パソコンを操作する
時間がない

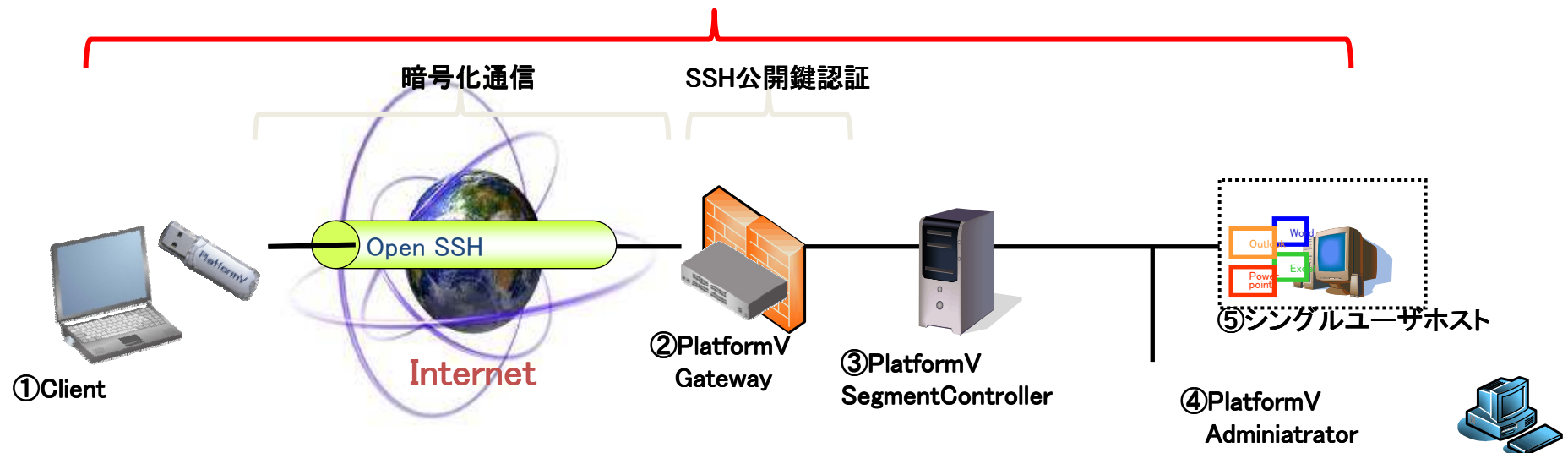
テレワーク環境が 構築されれば・・・

- 平日の居残り業務の軽減
- 休日出勤の削減
- 教職員の精神的なゆとり確保
- 子どもと向き合う時間の確保
- 校務支援システムの活用
- 情報セキュリティの確保

当校が利用したPFVシステムとは

リモートアクセス・ツール「PlatformV(プラットフォーム
ブイ)、以下PFV」とは

- パソコンにUSBキーを差し込むことで、『場所』や『時間』を選ばずに『世界中』どこからでも校内のパソコンやサーバーへログインすることができるシステム。

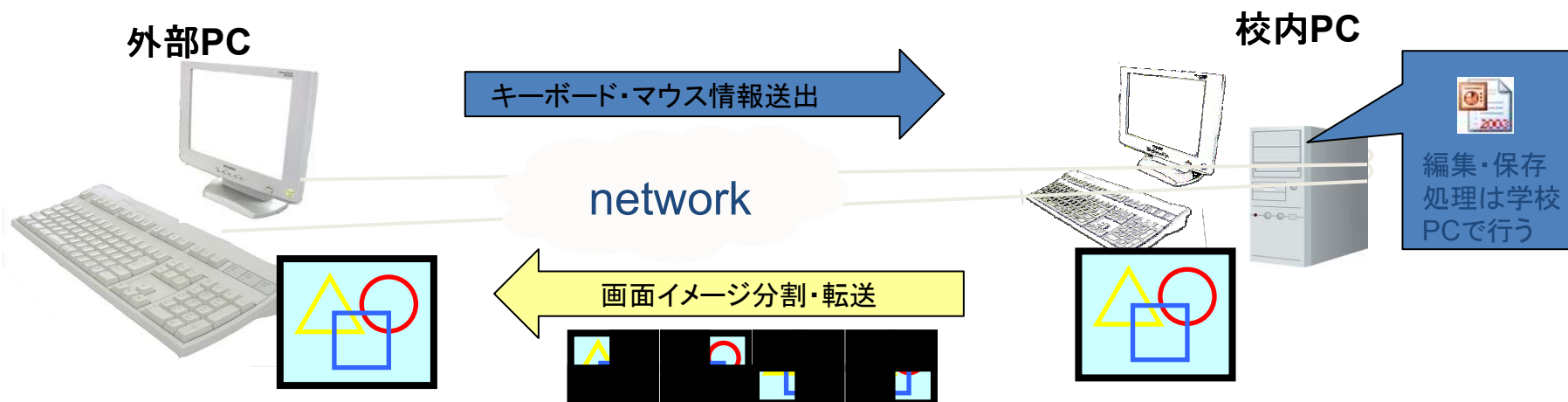


- 特徴1 「安全な通信」

PFVの専用USBキーを差し込んだパソコンは、単なるネットワーククライアントとして利用でき、画面情報のみがネットワークを通じて伝達される仕組み

- 特徴2 「インストールレスで持ち運びに便利」

PFVのUSBキーには、専用のソフトが搭載されていて、クライアント側(校外で利用するパソコン等)へのインストールは一切不要。インターネットに接続されていれば、USBキーを差し込むだけで、リモートコントロールが可能。



テレワークアンケートの集計結果

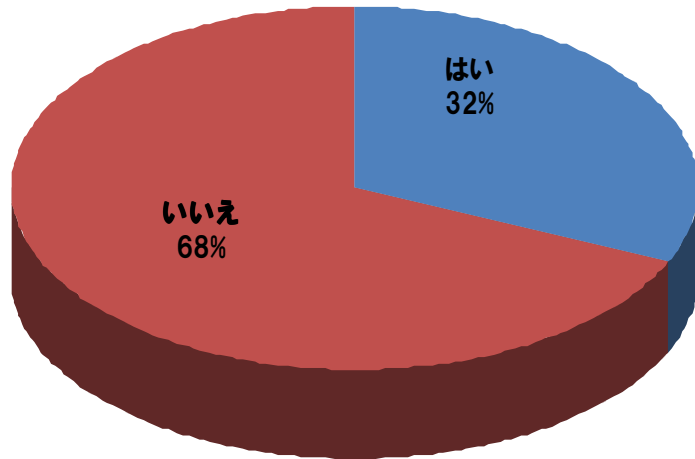
妙高市立妙高小学校 妙高市立新井中学校

2010年10月、2月のアンケートより集計
テレワーク活用者15名

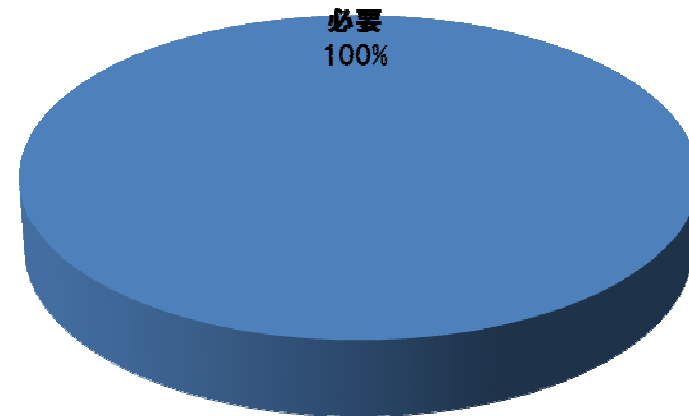
テレワークの認知度と必要性

10月アンケート結果より

テレワークをご存知でしたか？



テレワークは必要と思いますか？

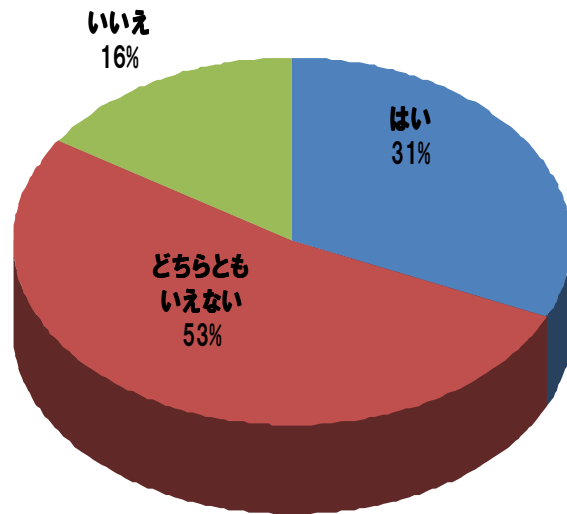


「必要」と答えた理由

- 不要な残業を減らすことができ、業務軽減に効果がある。
- 学校でしか閲覧できない文章を読むことができる。
- わざわざ学校ではなくても出来る仕事を、自宅でできる。
- 退勤までに仕事が終わらない場合、自宅でも仕事ができる。
- 子どもの迎えの関係もあり、学校にいないことができない場合、自宅で仕事ができる。
- 休日出勤しなくても、学校のネットワークへアクセスできる。
- 自宅にいても、職場にいると同様の仕事ができる。
- セキュリティが保たれているということで、家からでも安心して接続できる。
- データを持ち帰ることができなくても、学校へアクセスできる。

テレワークの実施により業務負荷の軽減効果 はありましたか？

10月アンケート結果より



「どちらともいえない」と答えた方、その理由をお答え下さい。

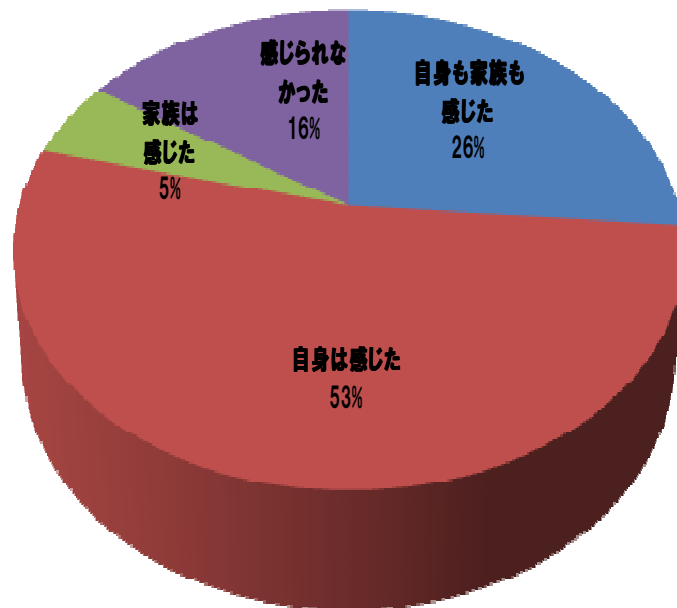
- 業務の全体量に変化がないため。
- 業務自体は減っていないので、学校でやるか家でやるかの違いでしかない。
- どこでもできる手軽さと、常に仕事に追われている苦しさがある。

「いいえ」と答えた方、その理由をお答えください。

- 家でできることが多くなる分、持ち帰りも増えるため。
- 仕事の量は変わらないから。

テレワークによって、自身、または、家族は生活の満足度の向上を感じられましたか？

10月アンケート結果より



「自身は感じた」と答えた方、その理由をお答え下さい。

- 家事を終わらせた後に仕事ができるので、気分的にリラックスできる。
- 休日に出勤せずとも、家で仕事ができる。
- 家で落ち着いて仕事ができる。

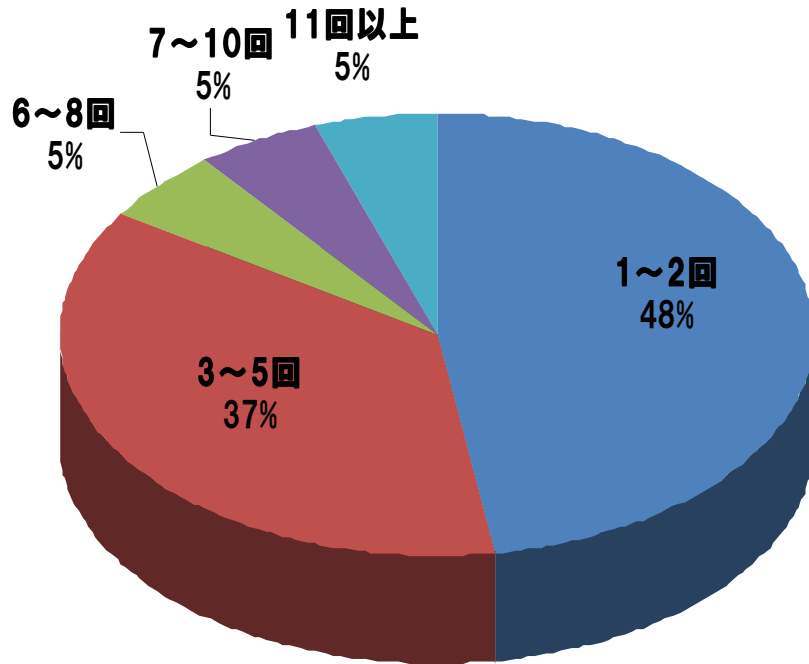
「家族は感じた」と答えた方、その理由をお答え下さい。

- 帰宅時間が早くなった。休日に仕事に行く回数が減ったため。
- 業務の量は変わらないから(自身は感じなかった)。

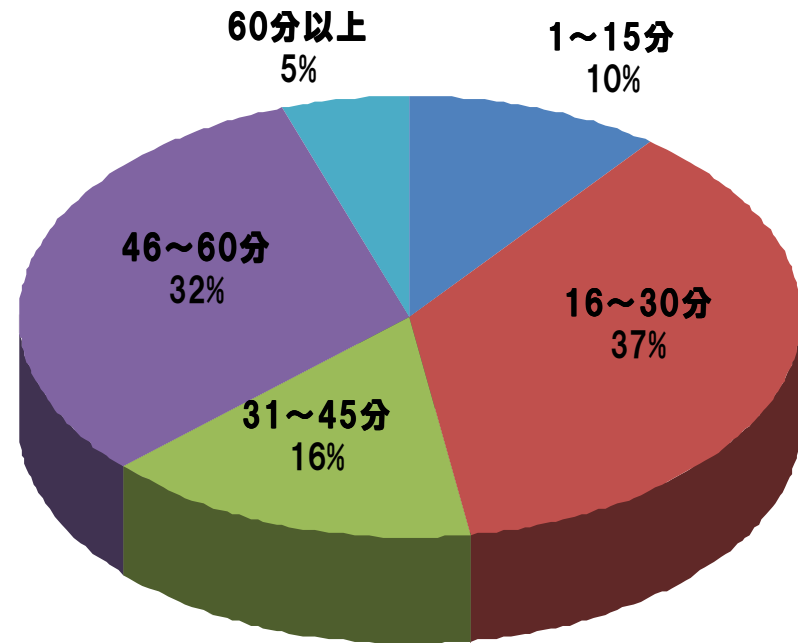
テレワークの利用度

10月アンケート結果より

1週間に何回テレワークシステムを利用しましたか？

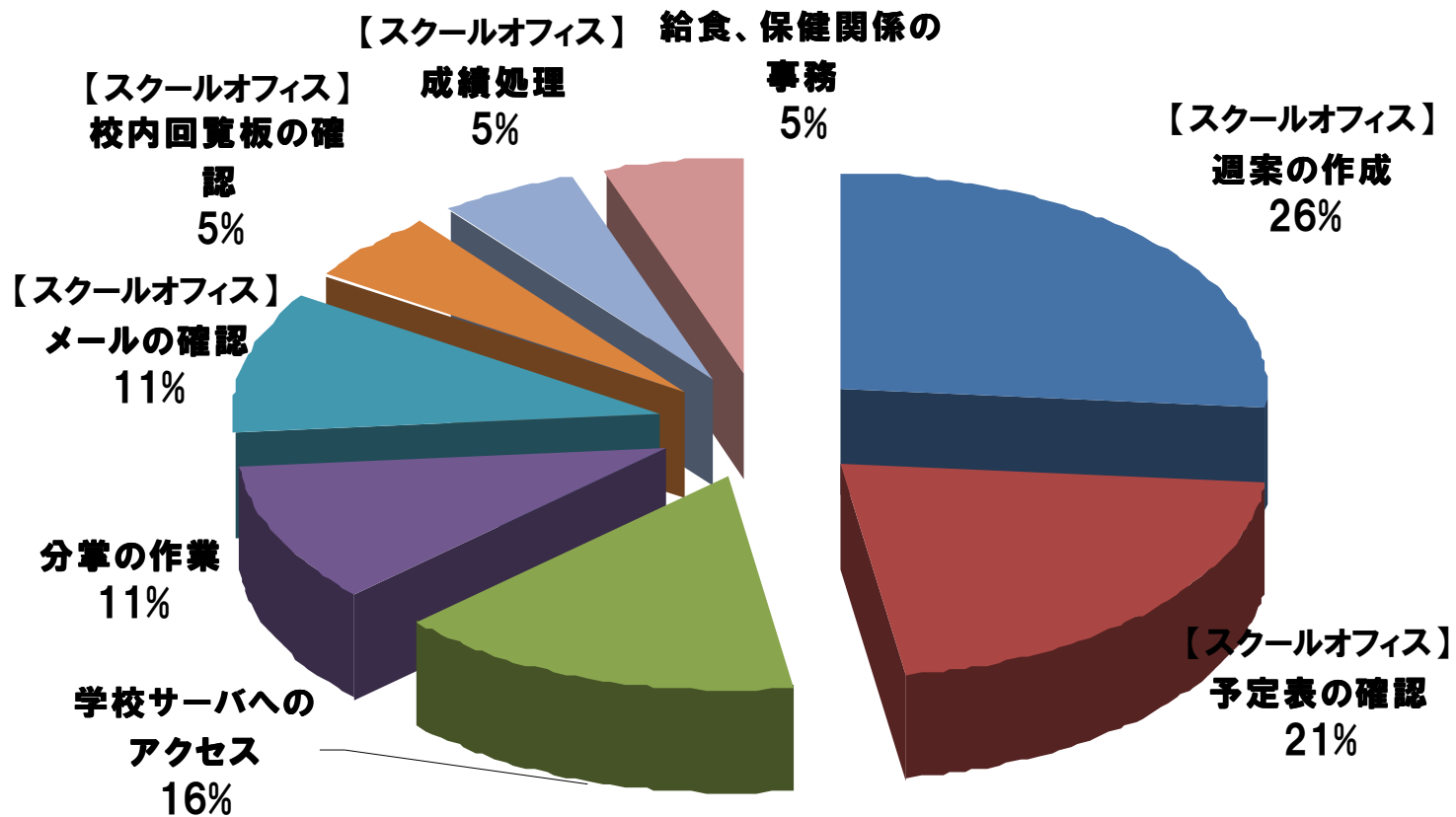


1回アクセスする際の、利用時間は？



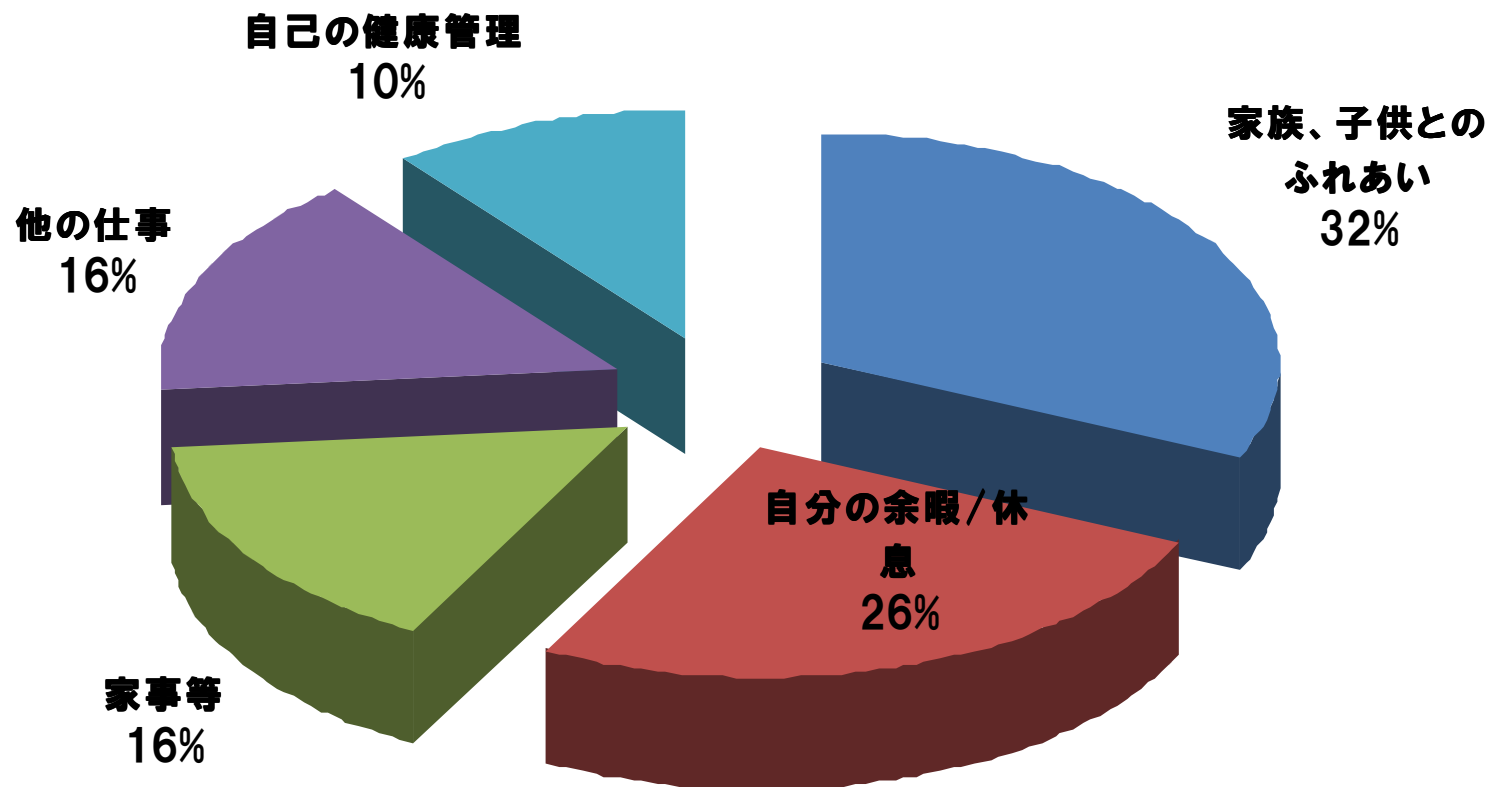
どのような目的でテレワークシステムにアクセスしましたか？（テレワークでの主な作業は？）

10月アンケート結果より



テレワークシステムを利用したことで得られた時間をどのように活用しましたか？

10月アンケート結果より



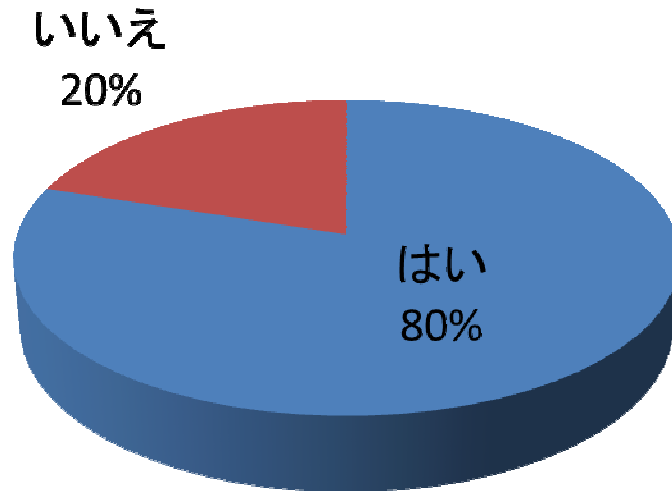
テレワークでの仕事が日常化した 2月に、再度アンケートを実施

- 1学期末と2学期末の勤務時間と場所の変化
- 休日出勤、退勤時間、個人情報持ち出しについて
- 校務支援システムの活用状況。

学期末の仕事の進め方の変化

(テレワーク導入前後)

1学期末(テレワーク導入前)と、
2学期末(テレワーク導入後)の
業務の進め方に変化はありましたか。



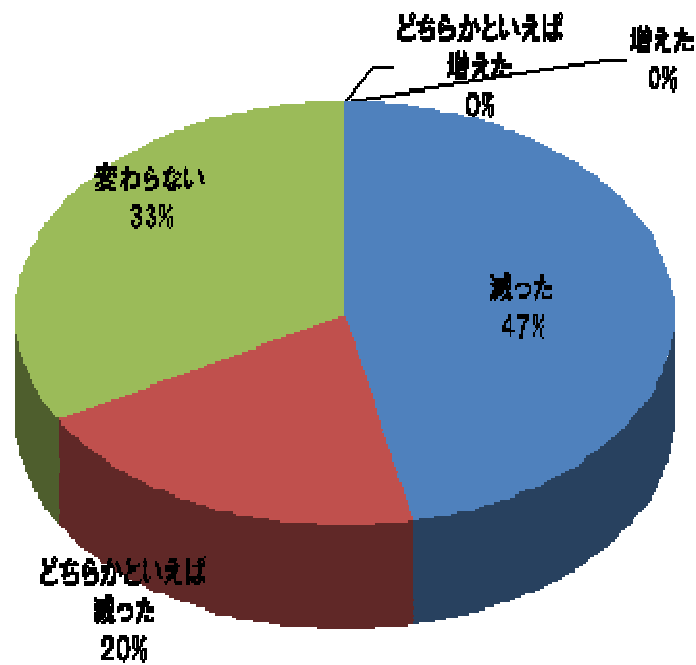
「はい」と答えた方に聞きます。ど
のように変化しましたか。

- 学校へ来なくて済んだ(土・日)。
- 学校にいつまでも残ることなく、
自宅^で成績^{処理}や仕事をできる
ようになった。
- 学校でしかできないことを優先的
にできるようになった。優先^{順位}
が変わった。
- 業務途中の仕事^を止めて、残り
は家でやるが多くなった。
- 朝早く学校へ行かなくても前日に
自宅で仕事^ができた。

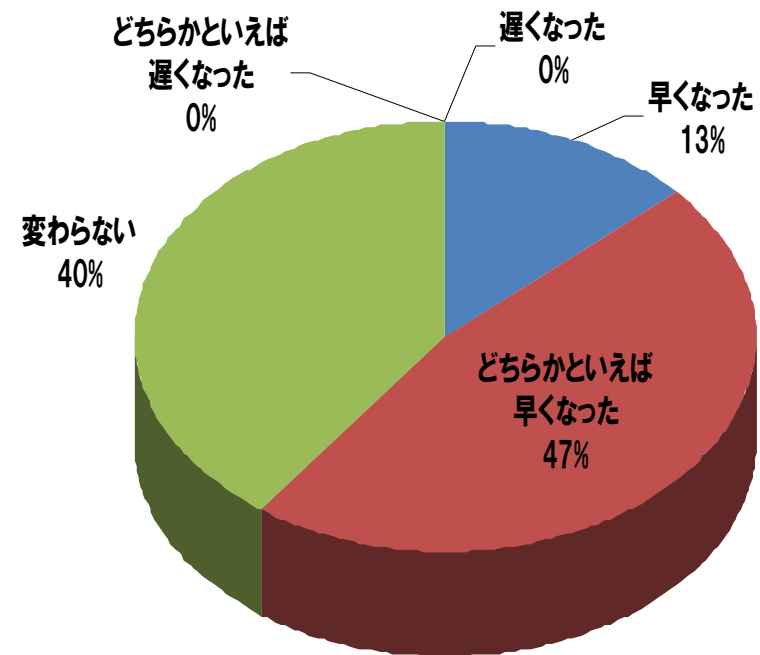
勤務時間について(テレワーク利用前に比べて)

2月アンケート結果より

休日出勤

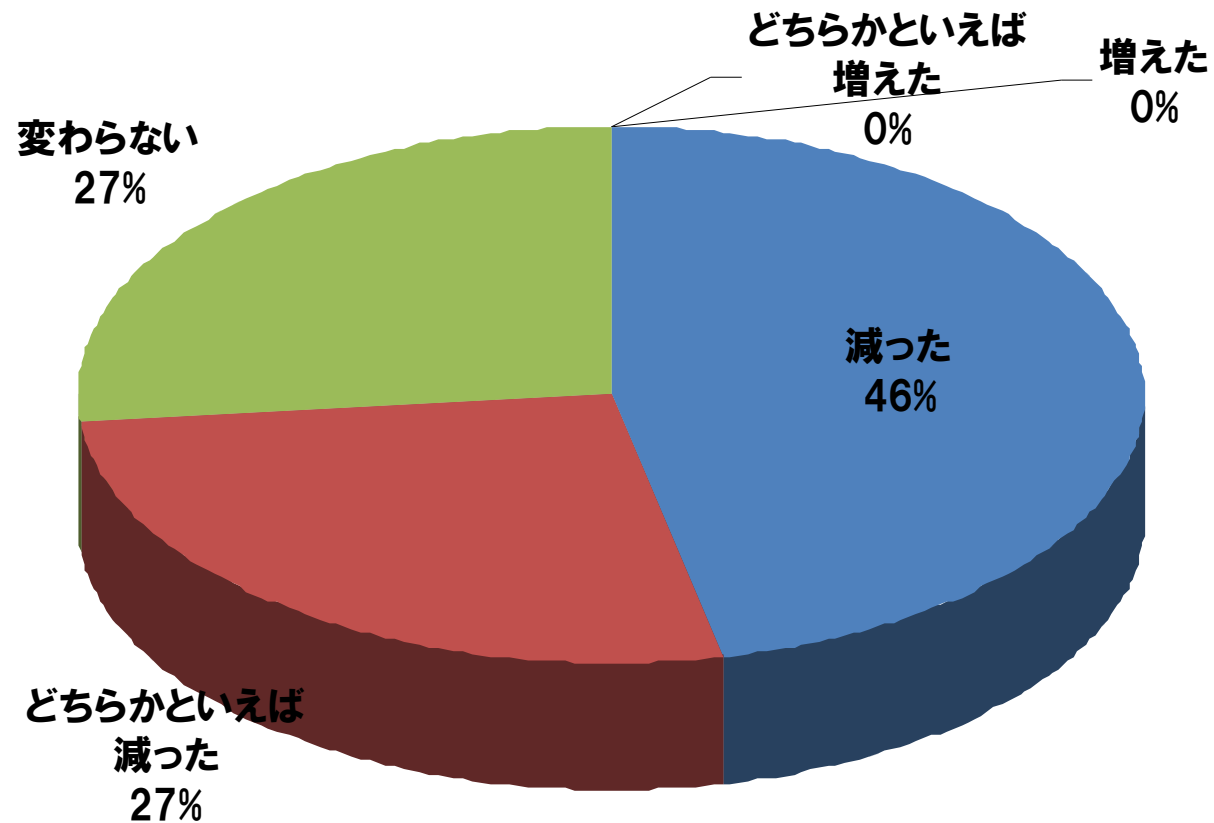


退勤時間



個人情報を持ち出し

2月アンケート結果より



勤務時間の過ごし方の変化

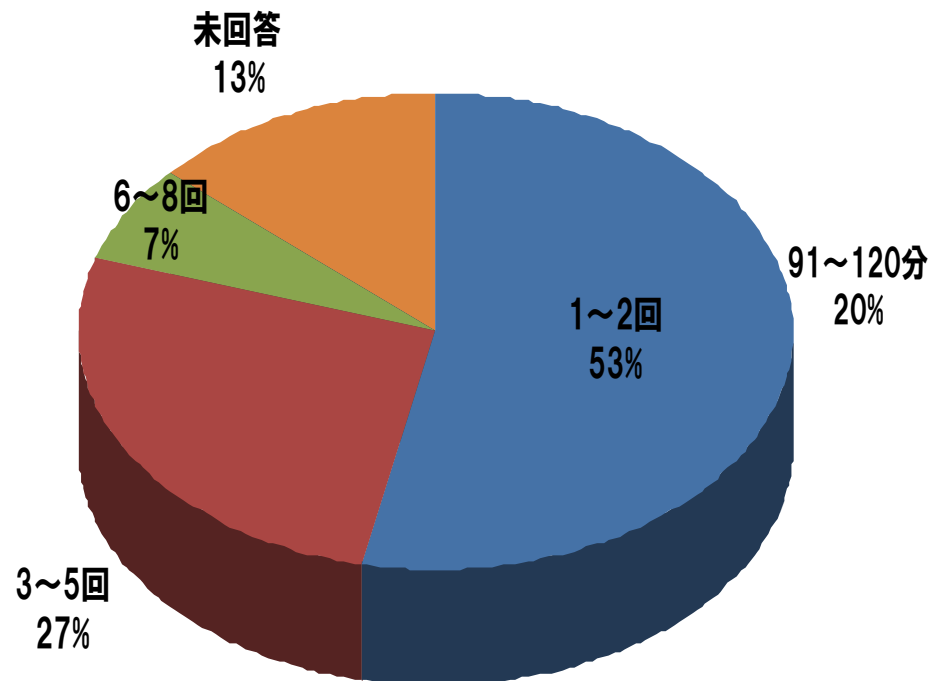
2月アンケート結果より

- パソコンでの仕事は、家でできるため、**他の仕事**に時間を充てられるようになった。
- 大きなファイル(紙ベース)を持ち帰ることがなくなった。
- **仕事の優先順位**が変わった。
- 勤務時間内の業務を減らして、昼間は、**子どもたちと接する時間**を増やせた。

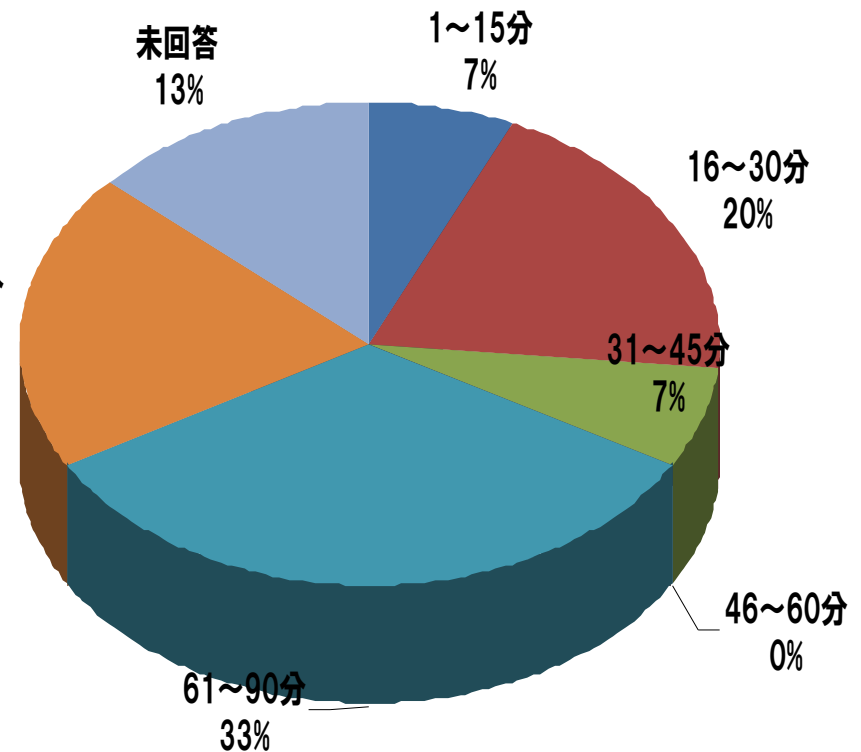
テレワークの利用度

2月アンケート結果より

1週間に何回テレワークシステムを利用しましたか？

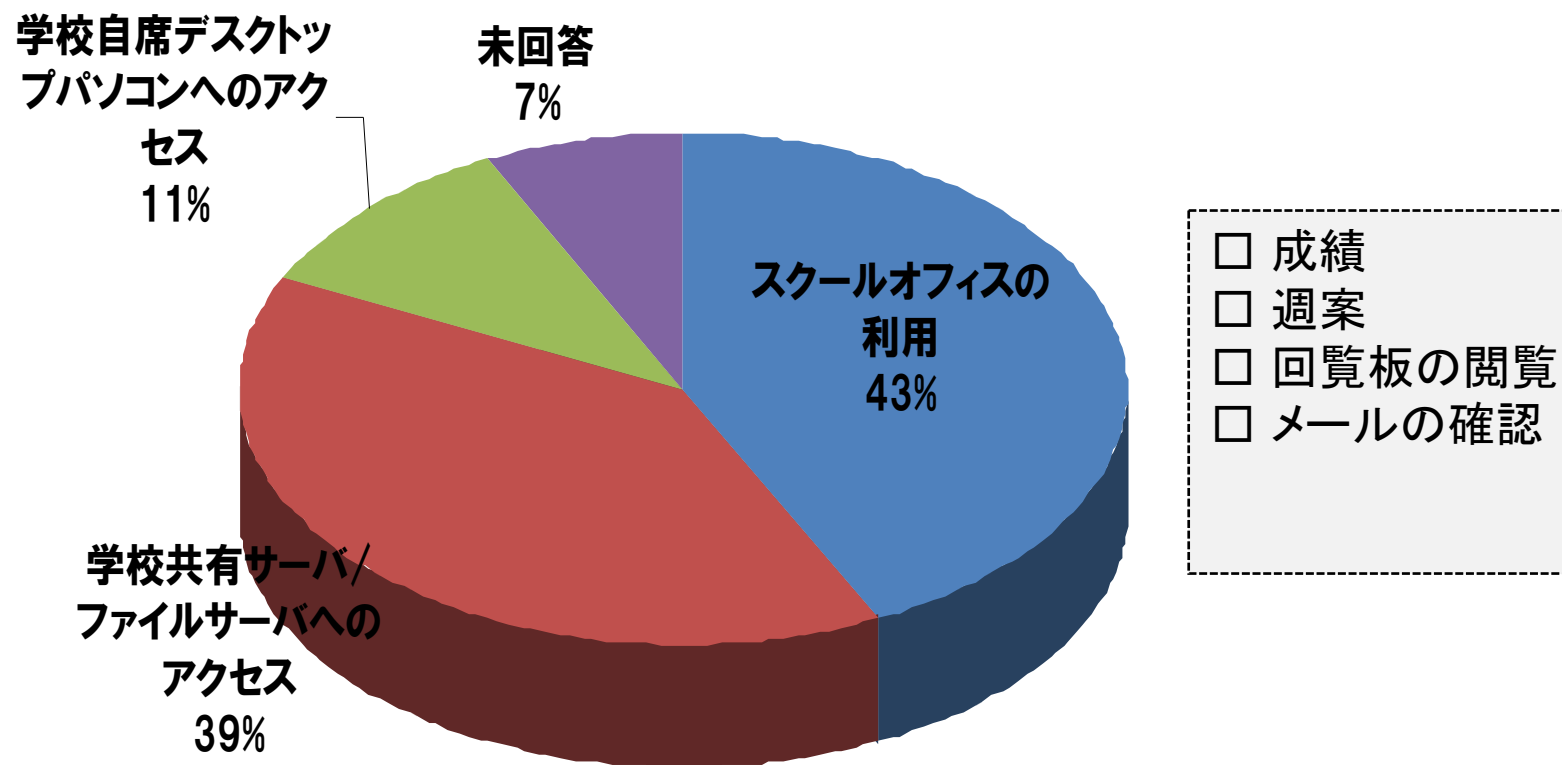


1回アクセスする際の、利用時間は？



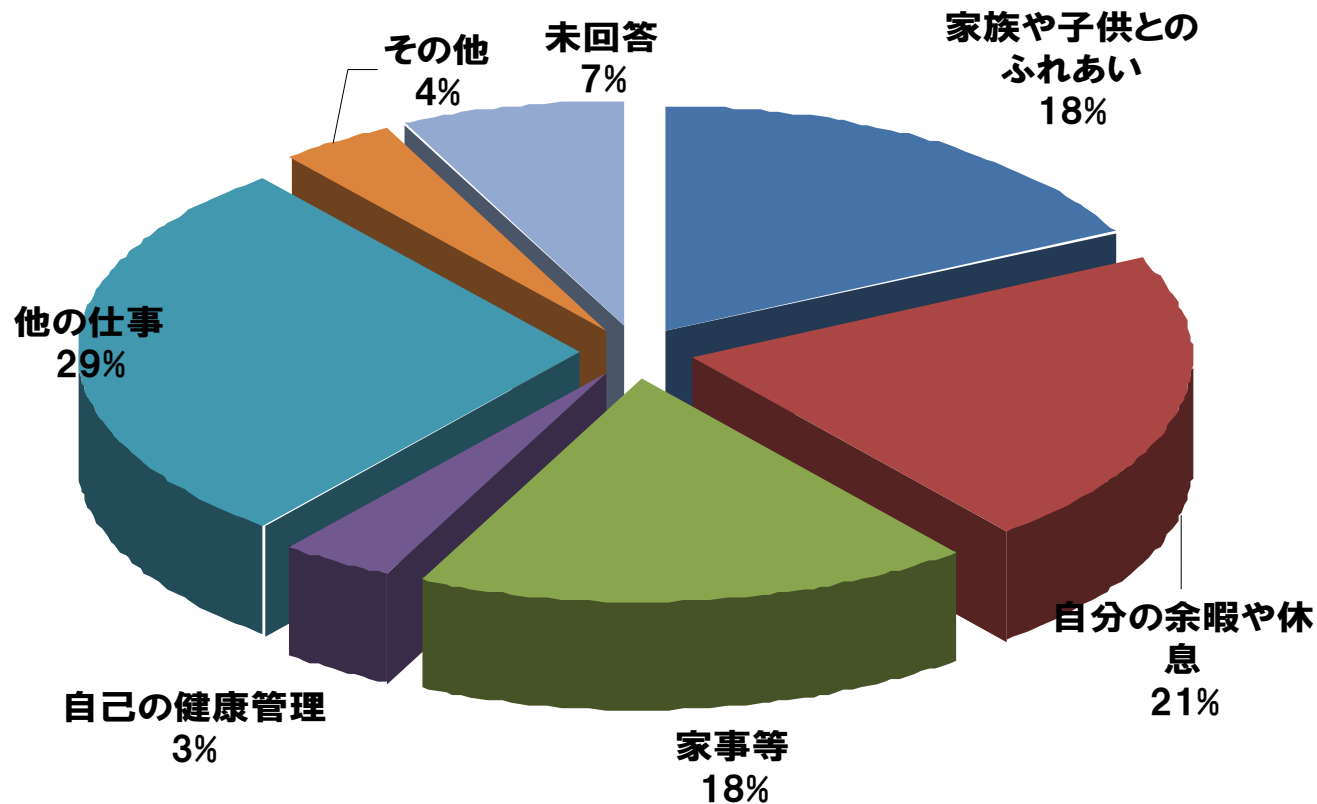
どのような目的でテレワークシステム にアクセスしましたか？

2月アンケート結果より



テレワークシステムを利用したことで得られた時間をどのように活用しましたか？ (複数回答可)

2月アンケート結果より



テレワーク環境

- 平日の居残り業務の軽減
- 休日出勤の削減
- 教職員の精神的なゆとり確保
- 子どもと向き合う時間の確保
- 校務支援システムの活用
- 情報セキュリティの確保